

行政改革推進項目別実施状況一覧（令和3年度末）

行政改革推進項目		計画完了	年度目標一部達成	目標達成に向け実施中	実施に向け検討中	計画中止	主な取組内容	
1 市民ニーズの把握と「総働」								
(1) 市民にとってわかりやすい形での情報の提供	①情報提供手段の拡大 ②市民との行政課題の共有		○				TwitterやLINEを活用しHPへのアクセスを促した。群馬テレビのデータ放送を開始 LINEアンケートの実施。新聞やテレビなどへの広報活動	
(2) 市民ニーズを間断なく把握	①行政からの積極的な意見収集		○				広聴ボックスの周知。メールでの問い合わせのため、問い合わせフォームを作成	
(3) 市民の意見をしっかり受け止められる行政をめざして	①市民ニーズに対する迅速な対応 ②審議会等への市民公募・女性参加率の向上		○					
(4) 市民のやりがいと市民力を引き出す仕組みづくり	①住民団体（NPO、ボランティアなど）の支援体制の確立 ②「ちいき生活応援隊」の推進 ③河川・道路アダプト（里親）の制度の推進		○		○		市民活動団体による意見交換会の開催。SNSによる情報発信、市民活動推進事業補助金の交付 登録済み団体に継続依頼し、新規団体募集を強化。25団体（目標16団体）	
2 職員の資質向上と人事制度								
(1) 市民と同じ目線で考える人材育成・職員の資質向上	①職員の外部派遣等の推進・外部（民間・他自治体）人材の積極的受入れと登用				○			
(3) 職員研修制度の見直し	①職員研修の拡充			○			コロナ禍においても、より高い研修効果が見込めるよう工夫して実施	
(4) 人事制度の見直しと働き方改革	①能力と実績に基づく人事評価制度の確立 ②働き方改革の推進				○			
3 効率的・弾力的かつ機動性のある組織の整備								
(1) 進捗管理とPDCAサイクル	①行政改革大綱及び実施計画の進行管理 ②行政改革大綱の職員への浸透		○				会計年度任用職員を含めた職員アンケートを実施	
(2) 事務の継続性の確保	①業務マニュアル作成の推進				○			
(3) 組織の弾力的運用	①組織の見直し ②職員の適正配置			○			調書の収集とヒアリングを実施し、組織見直しの方向性を12月までに決定 人員の「総量」を把握するためのシートを作成し、職員課と情報の共有を図った。	
(4) 行政の最小単位である行政区	①行政区の活用と検討			○				
(5) 機動性のある行政運営	①行政評価の活用			○				
(6) 民間活力の活用	①アウトソーシングの活用			○			国、県等から提供される先進事例などの情報を、庁内に展開	
4 健全な財政運営								
(1) 歳出の削減と財源の確保	①今後の財政見通しの作成と公表 ②広告媒体の活用 ③財務諸表の活用 ④市税の収納率の向上 ⑤債権回収事務の一層の推進とその一元化に向けた取組		○				封筒の有料広告について実施業者と契約を締結 令和2年度分の財務書類について作成し、3月22日開催の全員協議会で報告し、公表。 79件の滞納処分を実施（うち単独執行5件）	
(2) 市有施設の適正な管理	①市有財産の有効活用 ②固定資産台帳の整備 ③公共施設等総合管理計画に基づく施設管理 ④公共施設マネジメントの推進			○			固定資産台帳の更新 安中市公共施設等個別施設計画、公立碓氷病院個別施設計画及び安中榛名駅周辺し尿処理個別施設計画を策定	
(3) 地方公営企業・第三セクターの経営の健全化	①病院事業の推進 ②第三セクターの健全経営の推進と民営化の検討			○			・脳神経外科を新設 ・常勤医師9人、病床149床、稼働率約57.6%、在院日数29日	
5 ICTを活用した情報化の推進								
(1) ICT活用による業務の効率化	①AI、RPA等の活用 ②職員の情報処理能力、情報セキュリティ意識の向上			○			AI-OCR使用案件19件（目標90件）、RPA使用事務11件（目標12件） 情報セキュリティ研修等を6回実施。他団体で発生したインシデント情報を5回共有	
(2) 行政サービス向上のためのICT利活用の推進	①行政手続のオンライン化の推進 ②オープンデータの推進			○			オンラインで申請できる行政手続の拡充。オンラインで可能な行政手続数19件（目標14件） 地図情報オンライン公開システムの運用を開始。オープンデータの公開数11件（目標10件）	
(3) 情報システムのクラウド化	①ガバメントクラウド活用の検討			○				
		合計	0	13	10	8	5	0